

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	1 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
英語演習 I (Language Laboratory I)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Sagahara, Shoji)	
	教員室	図書館 2 階 (TEL : 42-9062)	
	E-Mail	sagahara@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100 分) × 30 回		
〔本科目の目標〕 LL 教室で専用の機材を活用して、発音・スピーチ・リスニングの演習を通して、英語を聞き取り、話す基本的な能力を育成する。			
〔本科目の位置付け〕 発音、リスニング、スピーキングを基礎から演習し、その成果を英語 I、II の総合学習に活用する。又、2 年次の英語演習 II につなげる。			
〔学習上の留意点〕 防音設備の整った LL 教室で失敗を恐れずに積極的に英語をしゃべること。発音・スピーチ・リスニングの諸活動に積極的に参加すること。評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、発表、インタビューテストなど真面目に取り組むこと。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1) 前期中間試験まで ① Pronunciation(Step1-3)	1 5	<input type="checkbox"/> ① Step1-2 の体操ができる。Step3 の音の形ができる。	① 教科書の Step1-2 の体操をすること。教科書を読んで Step3 の概要を把握しておくこと。
② Speech(自己紹介)		<input type="checkbox"/> ② 英語で自己紹介ができる。	② 自己紹介の原稿を作成して練習しておくこと
③ Listening		<input type="checkbox"/> ③ リスニング教材を利用して準 2 級リスニングレベルの問題が理解できる。	
④ 表現		<input type="checkbox"/> ④ 対話(基礎)表現、対話(感情)表現が理解できる。	④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
2) 前期期末試験まで ① Pronunciation(Step4-5)	1 3	<input type="checkbox"/> ① Step4 の音のもと(母音、子音、L の音、R の音)が発音できる。Step5 のアルファベットの発音ができる。	① 教科書を読んで Step4,5 の概要を把握しておくこと。
② Speech(対話)		<input type="checkbox"/> ② クラスメートとペアーを作り英語で対話を発表できる。	② 対話の原稿を練習しておくこと。
③ Listening		<input type="checkbox"/> ③ リスニング教材を利用して準 2 級リスニングレベルの問題が理解できる。	
④ 表現		<input type="checkbox"/> ④ 対話(基礎)表現、対話(感情)表現が理解できる。	④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
—前期期末試験— 試験答案の返却・解説	2	授業項目①～④について達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解出来る。	
3) 後期中間試験まで ① Pronunciation(Step6-8)	1 5	<input type="checkbox"/> ① Step6 の音の流れが発音できる。Step7 音の変化が発音できる。Step8 の音の強弱が発音できる。	① 教科書を読んで Step6,7,8 の概要を把握しておくこと。
② Speech(暗唱文)		<input type="checkbox"/> ② 英語の暗唱文を正しい英語発音で発表できる。	② 暗唱の原稿を練習しておくこと。
③ Listening		<input type="checkbox"/> ③ リスニング教材を利用して準 2 級リスニングレベルの問題が理解できる。	
④ 表現		<input type="checkbox"/> ④ 対話(場面)の表現が理解できる。	④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。
>>> 次頁へつづく >>>			

